暮らしのヒント

健康専科

親と子の心の健康

こんにちは保健婦です ②

子のありかたと親の責任

子供が問題をおこしたとき、無責任な親は、自分たちのしつけや子供に対する態度を棚にあげて、この子がこうなったのは友達が悪いとか、学校の教育が悪いなどと環境のせいにしがちです。子供を幼いときから育ててきたのは、ほかならぬ親たちであるということを忘れてはいけませんね。

「子は親の鏡」というように、子供に何か異常な行動や態度のある場合は親に問題がある場合が多いのです。親が子供のいうことに真剣に耳をかさないのもよくありません。

たとえば、食事の時など子供が親に何かたのんでいるのに、「ウンウン」とテレビなどを見ながらナマ返事をし、安受け合いなどしたため、そのことが実行されなかったり忘れられたりすると、「うチの親は嘘つきだ、自分のことを真剣に考えてくれない」と不信感を生むもとになります。このようにちょっとしたことの積み重ねから親子の断絶が生まれてくるのです。毎日の親子の会話、接し方についてふりかえってみませんか。

6日1日 越後七浦観音法要

間瀬高屋の自然休養村管理センター白岩前に立つ「越後七浦観音」。いまでは本村のシンボルの一つとして、みなさんをはじめ多くの観光客にも広く親しまれています。この観音様の法要が行われますので、みなさんおそろいでお出かけください。■**とき**…六月一日(水)午前十一時 ■**会場**…越後七浦観音像前広場(雨天の場合は、センター白岩内で行われます)

立ち往生

言葉の履歴書 ⑫

「若い先生が教壇で立ち往生した」というときの「立ち往生」は、進退きわまってどうすることもできない困った状態をさします。

もともと「往生する」は死ぬことで、この世を去って極楽浄土に生まれ変わる意味の佛教語でした。

少しも苦しまず立派に死ぬことを「大往生」といいますが、「立ち往生」という言葉には戦場で立ったまま大往生をとげた武蔵坊弁慶のイメージがダブっています。

兄の源頼朝ににくまれて、奥州平泉の藤原秀衡を頼った源義経は、秀衡の死後、文治五年(一一八九)閏四月の衣川の戦いで秀衡の子泰衡に討たれました。主君義経を守った「弁慶の立ち往生」は『義経記』巻八に記されています。

鎌・鋸、槌、斧などの「七つ道具」を背負い、大長刀を杖にした弁慶の鎧に、無数の矢がささったさまは、「蓑を逆様に着たる様にぞありける」と描かれました。

「立ち往生」はさかのぼればマイナス・イメージの言葉ではなかったわけです。

公民館の

●趣味の公開講座●

茶道の奥行きを味わってみませんか

毎回ユニークな講座で好評の趣味の公開講座。今回は柏崎市にある木村茶道美術館で茶道の研修会を行います。みなさんぜひ、ご参加ください。

■**とき**…6月3日(金) ■**集合**…午前八時半までに公民館にお集りください ■**会場**…柏崎市・木村茶道美術館 ■**参加費**…一人 4,500円(昼食代を含みます) ■**定員**…25人 ■**申込み・問合せ**…5月23日までに岩室村公民館(☎82—4444)へ。

ちょっと目を離したスキに…こんな油断から〝水の事故〟が起きています

〝水の事故〟に気をつけて

農繁期に入る今月は、水の事故が多くなる時期です。作業に追われ、つい目を離したすきに、よちよち歩きの子供が……という例も少なくありません。それも、大人では思いもよらないところで…。子供は好奇心、冒険心が旺盛です。身のまわりに危険な場所はありませんか。用水などにも多量の水が流れています。子供たちの釣りや水遊びには、できるだけ保護者が同伴するなど心がけてください。

—No.11—

われらサークル

大正琴愛好会

澄んだ余韻を胸の中に残す大正琴の新しい音色——いま婦人層を中心に人気の出てきた大正琴のクラブが先月六日、新しく誕生しました。名づけて〝大正琴愛好会〟。

出来たてほやほやのクラブとあって、初顔合せ(四月六日)では、六人の愛好者が集まってスタートしたのですが、二回目の練習日には広報で紹介したせい?もあってか会員が十三人に倍増しました。

〔会員の声〕 **棚橋シヅさん**

大正琴の魅力は、なんといってもあの美しい音色にありますね。琴は多少高いものですが、何年も使えますから、長い意味での投資でしょうか。操作は割合簡単ですから基本さえ覚えれば、だれにでも弾けます。また一人で、こたつのうえなんかで気軽に楽しめますし、弾ける曲数が増えるにつれて、楽しさも増すと思います。

美しい音色が魅力

クラブの生みの親とも言える発起人の一人、棚橋シヅさん(石瀬59歳)は、「昨年十二月に静閑荘で開かれた社会福祉協議会の一人暮らし老人への食事サービスでアトラクションとして、この大正琴演奏(新潟市のクラブ)をやったんです。初めてお聴きになったお年寄りのみなさんが大変感激され、わたし自身も数年前から習っていたせいもあって、ぜひ公民館を会場にクラブ化したかったんです。それが、今回多くのかたがたの支援を受け、創部できたことをいま本当に喜んでいます」と結成の喜びを話す。

ところで、この大正琴。大正(たいしょう)という名のついているところから、大正時代と何か関係あるのかな、と伺ったところ、なるほどそうでした。大正琴はその名が示すように、大正元年(一九一二年)に名古屋の森田伍郎という人が新開発したもので、琴、三味線、尺八に次く第四の日本独特の楽器といわれます。大きさは、古来の琴とは比べものにならないほどコンパクトで約80㎝ほど。市販のものは、バックケースもついて持ち運びも便利です。操作も簡単で、数字のついたキーを押しながら右手(ピック)で弦を軽く弾(はじ)けば、大正琴の哀愁ある音色が飛び出します。

「非常にコンパクトで軽いため、こたつの上や机の上でも気軽に練習できるのが魅力ですね。キーは数字の1がドの音、2がレの音…そしてシが7(いずれもハ長調)と分かりやすいのも、初心者のかたが習いやすい利点でしょうか」と棚橋さん。勘のいいかたならもうお分かりになったかもしれませんが、実はこの大正琴の楽符というか、教本にはメロディはなく、それに対応した数字が載っているのです。音符が数字で表してあるわけです。「大正琴は、手軽にどこでも弾けますから、継続してやることが上達の早や道ですね。一人で楽しめることも魅力ですが、指先の運動でもありますから、老いの防止にも大変効果があると思います。また、クラブで皆さんと一緒にやれることは、技術の習得だけじゃなく幅広い仲間づくりができて、意欲もわいてきますよ」と会の代表の渡辺純子さん(樋曽)。

初心者にもていねいな指導で好評

「まだ誕生したての会のため、ただいま愛好者を募っています。ご希望のかたは公民館へお申し出ください。練習日は毎月第一水曜日と第三水曜日の月二回、午後一時半から三時まで公民館でやっています。会費は月額二千円ですが、講師に金子琴源さんをお願いしていますので、初心者のかたでもていねいに教えてくれます。ぜひ、どうぞ」と棚橋さん。「ところで大正琴には、いくつかの流派があります。わたしたちが習っているのは琴城(きんじょう)流という流派で、お茶やお花のように名取り制度もあります。名取りくらいになれば申し分ありませんが、そこまでいかなくても、できれば私たちのクラブも県民会館での発表会に参加できるようになればうれしいですね。今月二十二日にその県民会館で第六回大正琴演奏会があります。入場は無料ですから、興味のあるかたはぜひ、お聴きになって大正琴の魅力とすばらしさを知っていただければいいですね」棚橋さん。

いかがですか、みなさんも大正琴の哀愁のある音色でご自慢の曲をお弾きになっては……。

「美しい音色が大正琴の魅力ね」と話す、大正琴愛好会のみなさん